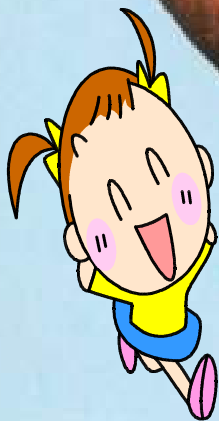


うしくでびっくり!

NO27

う
ば
が
み
い
せ
き
の
ま
き



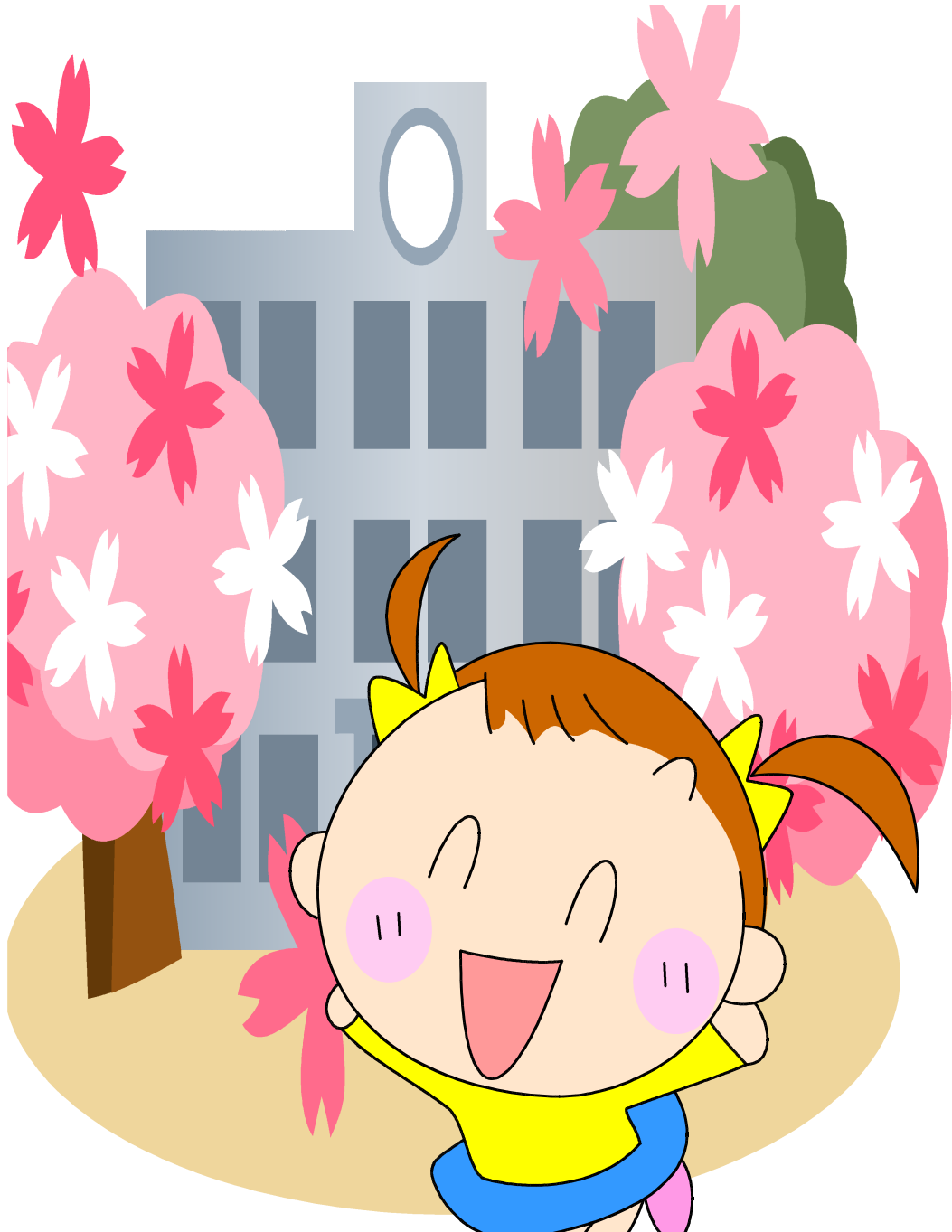
「牛久郷土かるた」より

おくの地区社協
さく いいだ あきお



牛久市史原始古代中世より
姥神遺跡出土土師器・壺（古墳時代）

なっちゃんは、おくの
の しょうがくせい。



あるひのこと。なっちゃん
は、ともだちからきいた
うばがみいせきのことが
きになった。

そこで、おかあさんに
きいてみた。

「**うばがみいせき**ってどこ
にあるの？」

おかあさん、しばらく、
かんがえて

「わからないわ。きいた
こともないわ」

「ん～、きになっちゃう」

ど
う
し
よ
う

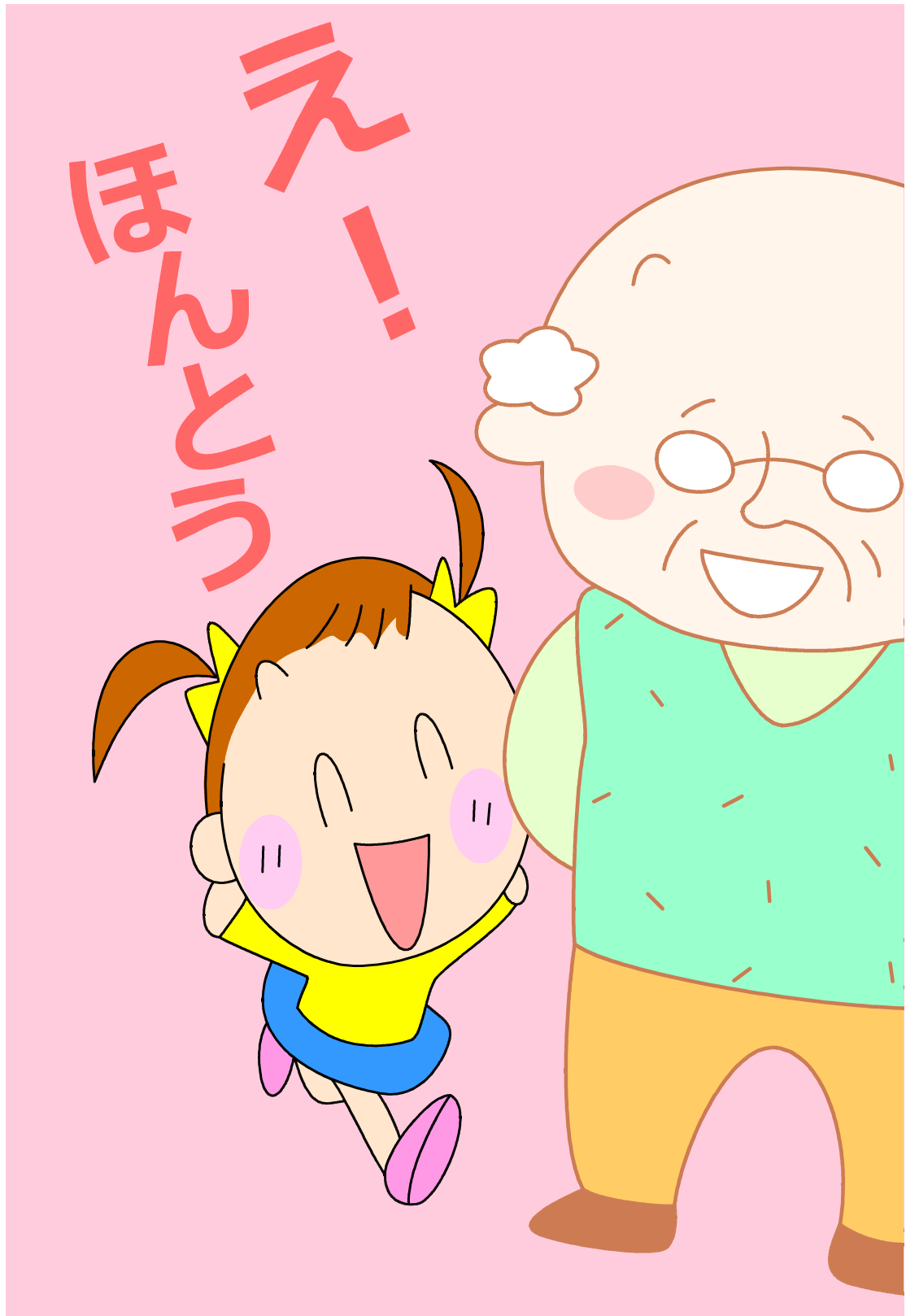


「おじいちゃんにきいて
みたら？」
と おかあさん。

こまったなっちゃん、
ものをよくしっている
おじいちゃんに きいて
みた。

すると

「ん～、たしか**おくばら**
のこうぎょうだんちにある
ときいたことがある
よ。くわしいことは、**あ**
きおさんにきいてみる
か。いっしょにいつてあ
げるよ」





さっそく、あきおさん
のいえに　いって、きい
てみた。すると、

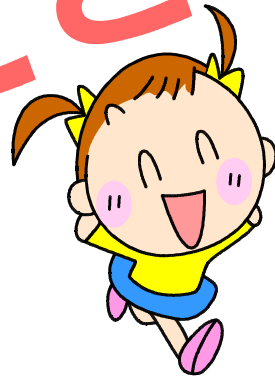
「ん～。うがかみいせき
か。それは、おくばらの
こうぎょうだんちをつく
るときにはっけんされた
いせきなんだ。わたしも
いったことがないだ。い
っしょにいてみるか」

こうして、3にんでい
くことになった。

あれあれ、これはおもしろそうと、な
ぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。
どこかな？



わくわく
どきどき



さんにんは、おくばらの
こうぎょうだんちのう
ばがみいせきをさがしに
いくことになった。

おくのぎむきょいくが
っこうからおくばらほう
めんへ・・・。

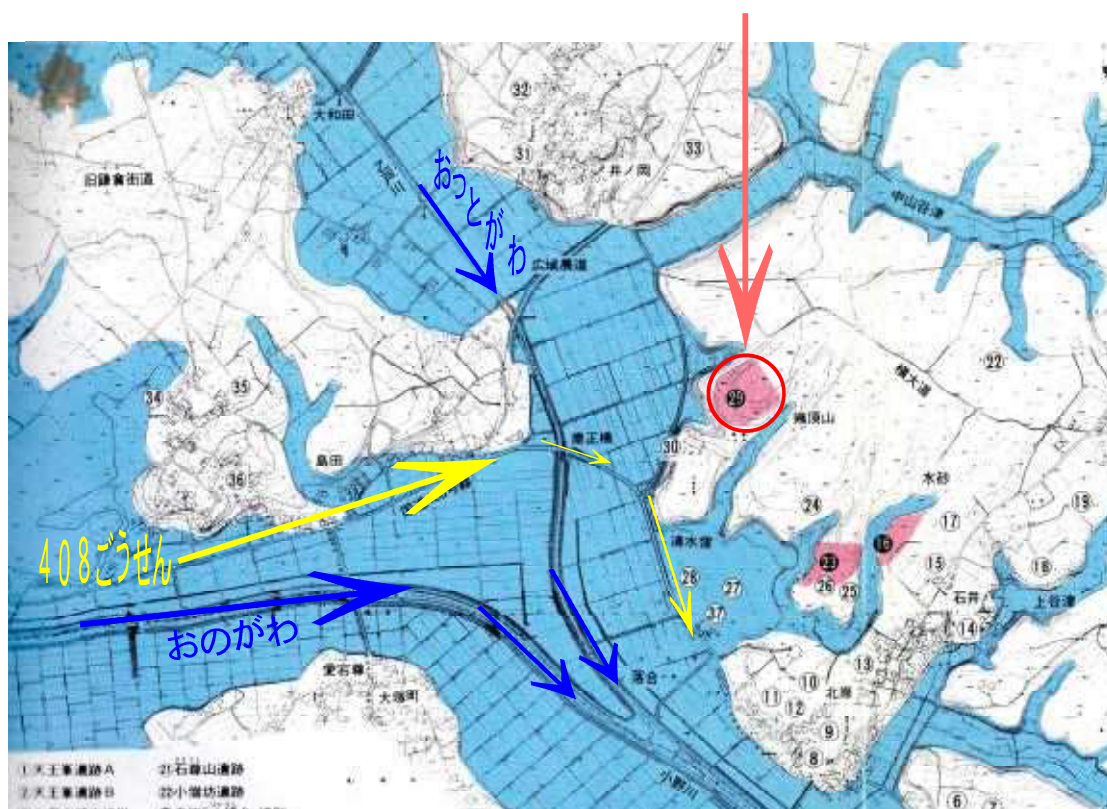
と、ところが、みちに
まよってしまった。①こ
くどう 408 ござせんで、
なかねぼくじょう (中根牧場)
いりぐちてまえを ひだ
りにまがったところに、
くるまをおりて、みちぞ
いにあるいていった。

みぎにみえるはずだが
・・・。てつとうが、あ
るだけだった。

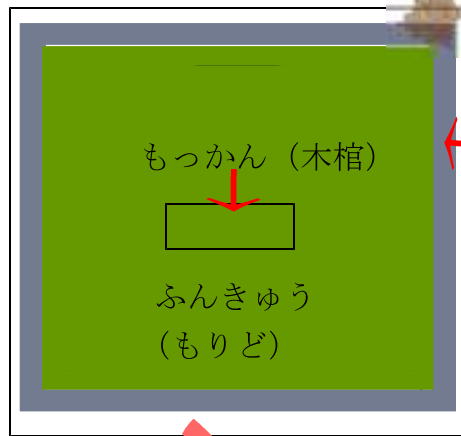
②もどって、ぼくじょう
いりぐちを はいってい
ったら、ぼくじょうしか
なかった！ ③もとにもど
って、こうぎょうだんち
いりぐちからあがって、
ひだりにまがった。でも、
みつからなかった。④さ
んぽしているひとにきい
てもわからなかった。

しかたなく、あとでい
くことにして、きょうは、
うばがみいせきのすごい
ところをおしえてもらっ
た。

その1。このいせきに
やよいじだい (弥生時代) から
こふん (古墳)、こだい (古代)
までつづく、しゅうらく
(集落) あとが、みつかつて
いるんだ。びっくり！な
まえは、うばがみいせき。



その2。いばらきけん
(茨城県) で、いちばん
ふるいほうけいしゅうこ
ぼ (方形周溝墓：ちからあるおさ (長) と そのか
ぞくのおはか) が、みつかった。



← ほうけいしゅうこぼ

← しゅうこう (みぞ)



びっくり!

ここでは、3き
みつまっているよ。

びっくり!

ここのしゅうこう（周溝）から、こんなものがはっけんされたんだよ。

そとがわがベンガラ（あかいこな）でぬられ、そこにあながあけられているつぼだ。



びっくり！

「そこにあながあいて
いたら、みずがこぼれち
やうよ」

そうなんだよ。だから、
それは、おはかにそなえ
たものとかんがえられて
いるんだよ。

「そうか」
しかし、このあたりでは、
こんなつぼは、つくられ
ていないんだ。

びっくり!

「じゃー、なぜ、ここにあるの？」

いいことにきがついたね。こうした**つぼがたのどき**は、**みなみかんとう**（とうきょう・ちば・さいたま・かながわ）で、たくさんみつかっているんだよ。だから、このおはかの**ぬし**は、**みなみかんとう**からうつりすんだひとだといわれているんだ。

びっくり！

でもね、もちろんじゅ
うきよあとで、みつかつ
たつぼのそこには、あな
があいてないよ。

そのほかこんなものも
みつかっているんだよ。

かめ^(髷) やつき^(坏) やたか
つき^(高坏) など。

とくにかめ（にたり、やい
たりするどうぐ）が、いちば
んおおくみつかったそうだ。

どうしてかな？

つぼ



ほぞん

(167) 姥神地区 SI-115出土壺(弥生)

つき



しよつき
(おさら)

(168) 姥神地区 SI-119出土坪(須恵)

かめ



(169) 姥神地区 SI-122出土壺(弥生)

たかつき



しよくぜん
(おさらやたべものをのせるだい)

(170) 姥神地区 SI-127出土高坪(須恵)

かめ



(171) 姥神地区 SI-134出土壺(土師)

かめ



(172) 姥神地区 SI-137(右)・SI-96(左)出土壺(土師)

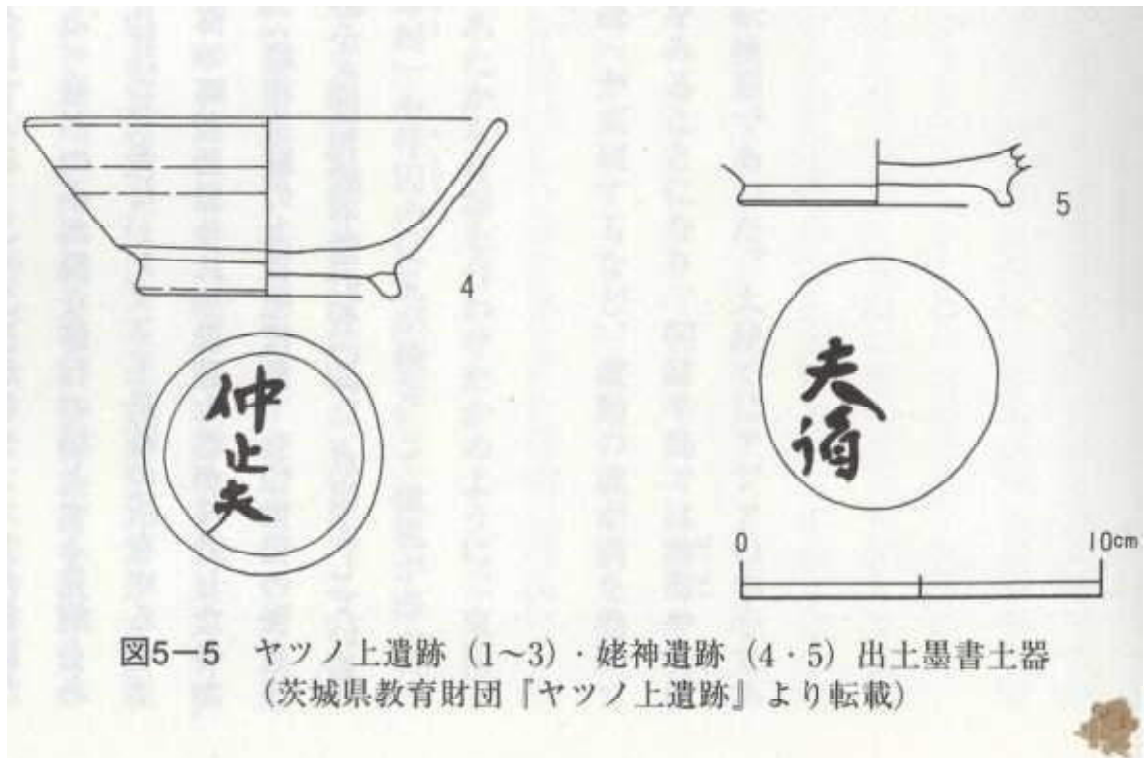
それだけじゃないんだ
よ。このいせきのからほ
うじゅけん（宝珠硯：市指定文化財）
やおおくのぼくしょどき
（墨書土器）が、はっけんされ
ているんだ。

ぼくしょどき（墨書土器）
って？

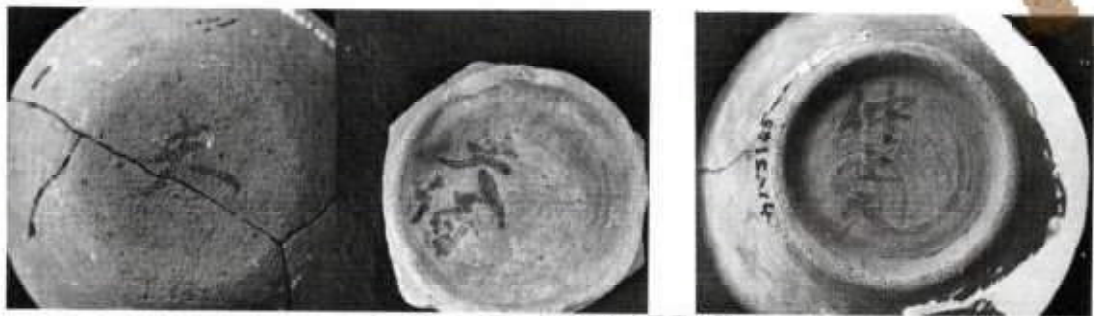
どき（土器）にもじをかい
たものなんだ。



それが、これだ！

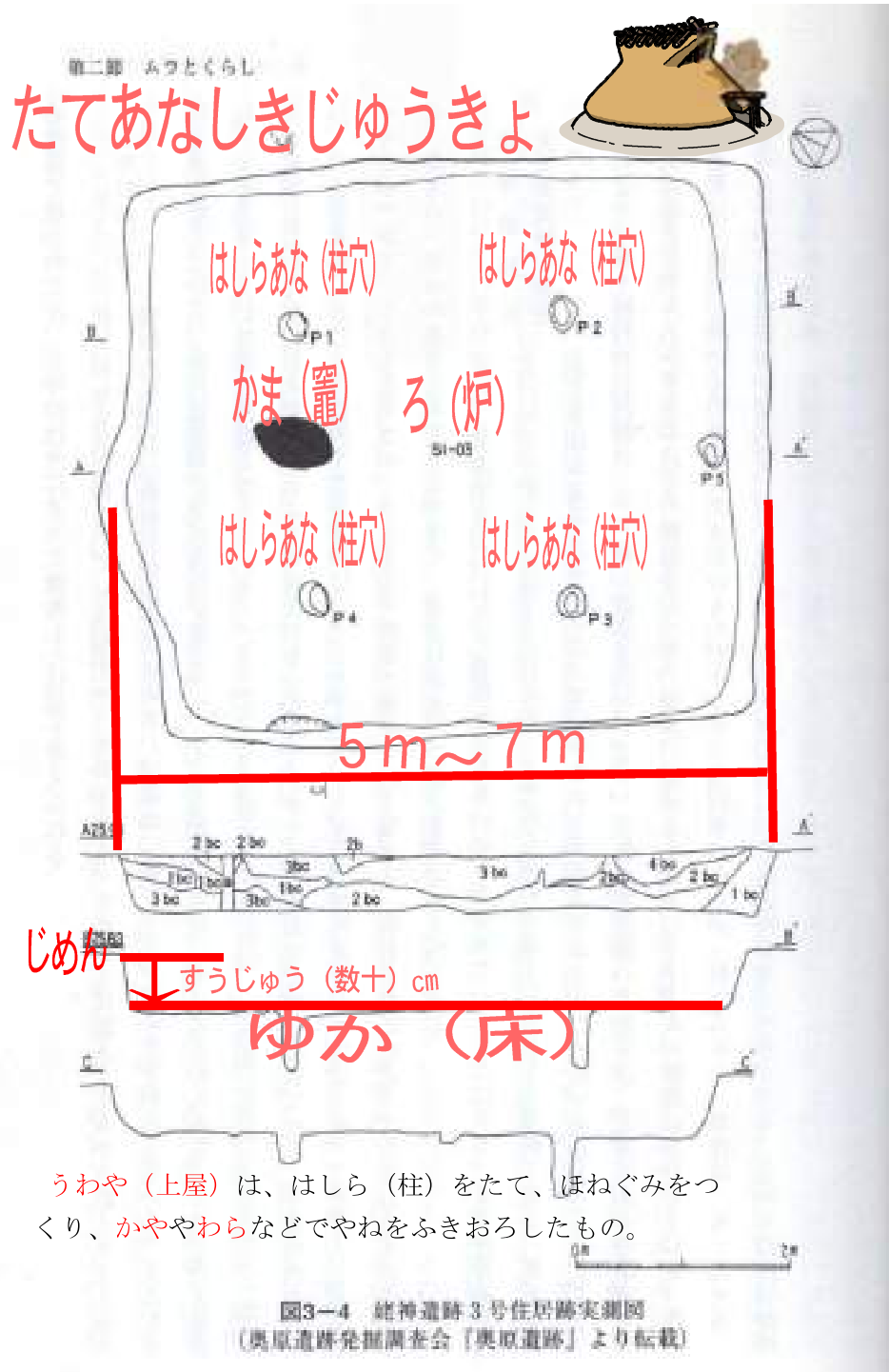


じつぶつのしゃしんは
これだ！



（199）姥神地区 各遺構出土墨書土器

その3。たてあなしきじゅうきょ（竪穴式住居）



① やよいじだい (弥生時代) から
なら・へいあんじだい
(奈良・平安時代) まで、 たてあな
しきじゅうきよ (竪穴式住居)
にすんでいたんだ。でも、
へんかもあった。むかし
は、わずかに ほりくぼ
めたろ (炉：にたき・だんぼう・しょうめい)
が、こふんうじだいにな
るとかまど (竈) が、つ
くられ、そ
こで、ちよ
うりするよ
うになっ
た。



(80) 純神地区 SI-46カマド状況

それだけじゃなく、この
しゅうらく（うばがみいせき）は、た
てあなしきじゅうきよ、15
6けん。ほうけいしゅうこう
ぼこ、3き。ほったてばしら
たてもの3とう。

と、きぼもおおきく、ちょう
さのけっかやよいじだい（弥
生時代）からつくられ、へい
あんじだい（平安時代）まで、
ずーっとつづいたんだよ。

びっくり！

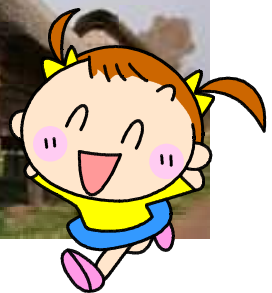
「しゅうらくってなに？」
しゅうらくは、4・5
軒のまとまりで、こうし
たしゅうらくが、いくつ
かあつまって、むらがで
きたんだ。

しゅうらくには、ほっ
たてばしらたてもの（堀立柱

建物）が、1・2
とうあつた
らしい。→

（堀立柱建物）

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



さらに、**たてあなしき
じゅうきよ**のおおきさは、①こふんじだいこう
き (古墳時代後期)

1 ぺん (辺) が、6 ～ 8 m。

②ならじだい (奈良時代)

1 ぺん (辺) が、4 ～ 5 m。

③へいあんじだい (平安時代)

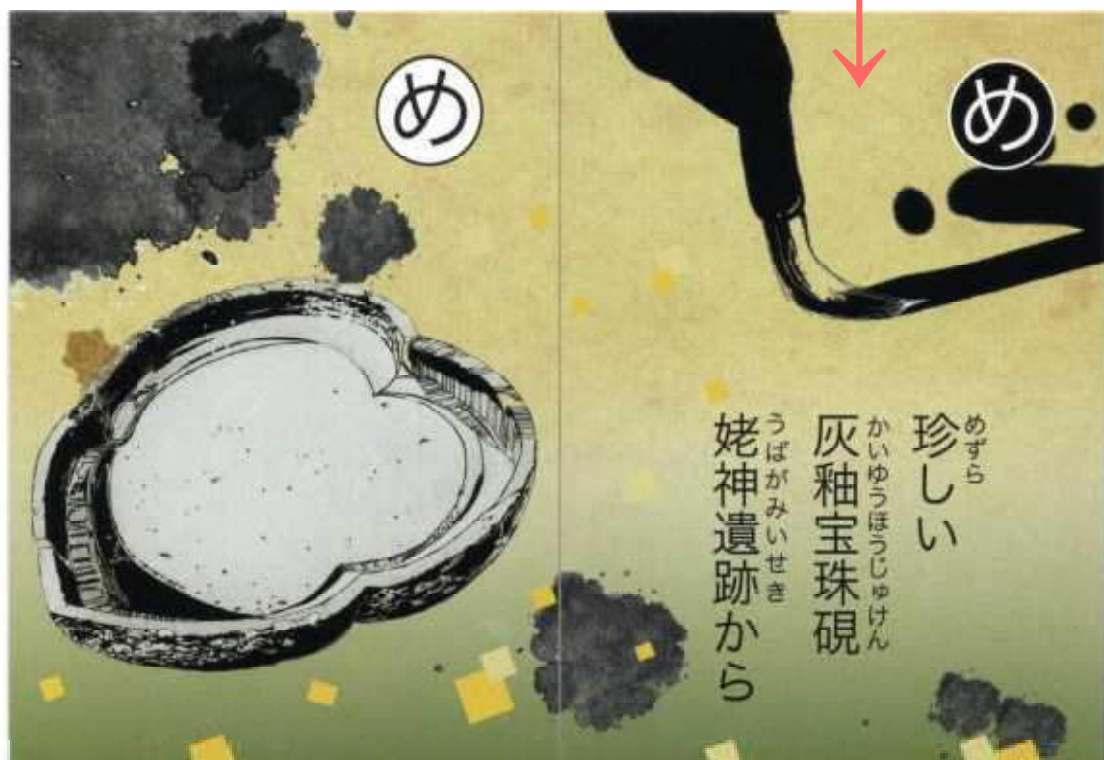
1 ぺん (辺) が、3 m。

と ちいさくなっている
んだ。

「どうして、かわったの？」

それはね。**きこう (気候)** や
ふうど (風土)、**かぞくこうせい**
などで、かわったんだよ。

その4。うし
くきょうど
(郷土) カル
タに こんな
カードがある
んだよ。しっ
てた？ それがこれだ。



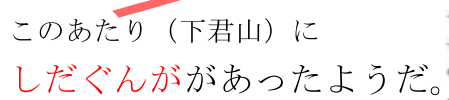
ほうじゅけん (宝珠硯) って？



牛久市内の遺跡紹介より引用

こうした**どき**のはっけんから、**こだいとうかいどう** (古代東海道) **やしだぐんが** (信太郡衙：いまのやくばのようなしせつ) とのかかわりが、あつたらしいんだ。つぎのずをみてね。





出典：地方史研究協議会編『地方史事典』1997年

でも、やっぱり、みつ
からない……。しやく
しょにでんわしてみると、もう
うめてしまったとのこと。

がっくり！

でも、あきおさん。い
ろいろなことをおしえて
くれたよ。

ここにすんでいたひとたちは、
どんなくらしをして
いたとおもう？



とりやけものをとり、どん
ぐりなどをとって、たてあな
しきじゅうきよで、くらし
ていたんだ。

しかし、こめづくりがさか
んになると、みんなでするし
ごとがおおくなって、むらが
できてきたんじゃ。そのリー
ダーが、おさ（長）。

こうして、ゆたかなむらと、
まずしいむらがうまれ、ちい
さなくにになったんじや。そ
んななかでも、ずーっとたて
あなしきじゅうきよにすみつ
づけたんだ。

「でも、うばがみいせき
がないなんて、いままで、
しらなかつた。なんかい
さがしてもないはずだ」
と あきおさん。それを
きいて、なっちゃんちよ
っぴり さみしそう。

かえりぎわにあきおさんが、あつくかたってくれた。

「なっちゃんのような子どもたちに、おくのにおおきなしゅうらく（うばがみいせき）があって、さかえていたことをしって、おくののたからもののひとつだと きづいてもらえたら、うれしいですよ」と。

ん～
たのしかった！

「また、こよーつと」

やっぱり、うばがみい
せきにくると、むかしの
ひとのあせと なみだが、
わかってくるようなきが
して・・・。

やっぱり うばがみいせ
きは、おくののたからも
のなんだね。

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。

またね 